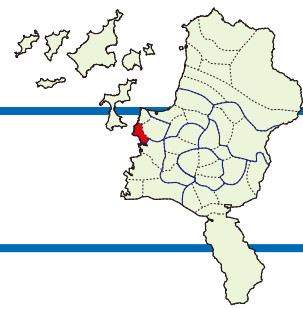


み つ は ま
三津浜地区

面積：0.96km²
人口：5,126人（高齢化率 35.6%）
世帯数：2,661世帯

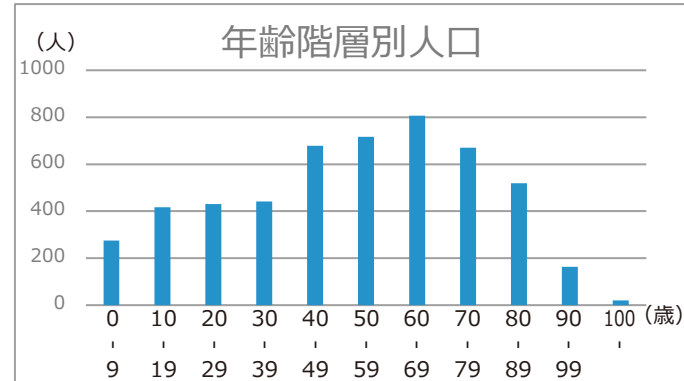


【地区の特色】

三津浜地区は、松山市の西部に位置し、南には松山空港、北端には松山市の海の玄関にあたる松山観光港を控えており、その中間部に位置する。また、朝市や海運と商業の町として栄え、地理的には海岸沿いで広い土地がないため昔から居住している人が多い。風物として、三津と港山を結ぶ「渡し船」があるなど古い情緒が残っており、最近では夏の花火大会として有名な地域である。



瀬戸内海と宮前川に挟まれた三津浜の町並



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> 生活に便利 ・ 資金がある（各種団体に助成）特に青少年健全育成に力を入れている 社会資源が豊富(支所、警察署、消防署、図書館、教育機関、交通機関、スーパー、神社、お寺等) ・ 昔から海運と商業で栄えた町で豊富な経験 ・ 狭いエリアの中に生活の拠点 知識を有する多様な人材を輩出した地区である 陸、海、空、公共交通機関のアクセスがよい 旧 38 町毎に町内会があり各種活動を行っている 下町の間関係が町に残り、住民同士の顔が分かる地域 各種団体の役員がリーダーとなって地区の活性化に努めている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化と若い人の転入が少なく過疎化が深刻な問題 少子化で伝統行事が受け継がれていくか心配 ・ 気軽に利用できるスポーツ施設が少ない 小学校の児童数の減少で（1～2クラス）クラス対抗の競技ができなくなった 地域のリーダーとして活動している人は高齢者が多く、一人が多くの役を引き受けて活動している ・ 新しいもの、よそ者を受け入れにくい土壌がある 人心一新、若い人が力を発揮できる環境整備に取り組みないと組織の風通しが悪くなる
地域が抱える福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少（過疎化の進行が松山市の市街地域では一番） ・ 少子高齢化が進行している 高齢化に伴う人材不足 若きリーダーが育っておらず次世代へのバトンタッチが進んでいない 空き家、空き店舗が増加している ・ 他団体との連携が十分ではない 住民間のコミュニケーションの希薄化が進行している 法律が壁となり、キメ細やかな福祉活動がその先へ進めない 三津浜にあった古来伝統文化が伝承されず一部途絶え消滅状態にある

三津浜地区社会福祉協議会

ふれ合いで、笑顔あふれる、三津の街

〈拠点〉 松山市住吉 2 丁目 5 番 25 号（ふれあいサロン三津浜内）

構成団体	地区民協・公民館・子ども会育成者連絡協議会・高齢クラブ連合会・広報部会 自主防災組織連合会・松山西交通安全協会三津浜支部・母子会・保護司会第 9 分区 中学校・小学校・PTA・婦人会・西地区少年警察ボランティア協会・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
3 地区合同施設訪問	毎年、宮前・高浜・三津浜地区が合同で、地区外の福祉施設に入所された地元出身の方々を訪問・激励しています。
三津浜地区敬老会	79 歳以上の在宅高齢者約 570 名のうち、100 名を超える方が一堂に会して、式典や小学生による催し物など楽しんでおられます。
基金の有効利用	高齢者福祉、青少年の健全育成、地域交流促進を目的とし、各種事業に善意の福祉基金を有効利用することに努めています。

伊予鉄三津駅前花壇整備

地域福祉サービス事業の一環として、年間を通じ毎週月曜日と木曜日、三津浜地区の協力会員が駅前一帯の環境美化のために、水やりと花壇の清掃に取り組んでいます。



〈地区社協が目指すもの〉

三津浜地区もご多分にもれず少子高齢化が進み、現在、高齢化率は約 36%と松山市街地でも高い比率となっており、今後も急速に上昇すると見込まれています。このような状況下において地域の各種団体が連携して誰もが参加できるコミュニケーションの機会やふれあいの場をつくり、若い人も若きも笑顔でふれあう機会を増やすことが、現役世代を巻き込み、高齢者の健康寿命を延ばし、若年層の情操教育に有効であると考えています。地域の福祉向上に向け、これからは子どもから高齢者までの全世代を対象とした施策を積極的に講じていくこととしています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	19名 2名	■町内会・自治会・区長会等	38団体
	■まち協の設立	平成 22 年度	■高齢クラブ	2クラブ
			■子ども会	24団体
			■自主防災組織	29組織

松山市内最大の花火大会の開催地で、地域住民と中学生ボランティアが協力して祭りを盛り上げています。地区社協では施設訪問等で地区内の福祉施設と日頃から連携を図っているほか、地区内各種団体の連携をいかした敬老会や駅前花壇整備などの地域活性化活動にも取り組んでいます。また、地区社協発行の「福祉だより」は企業広告として施設の紹介を行うなど内容を充実させるほか、全面カラー印刷にするなどの工夫を常に行うことにより住民に見やすく福祉を身近に感じることのできる発行物となっています。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

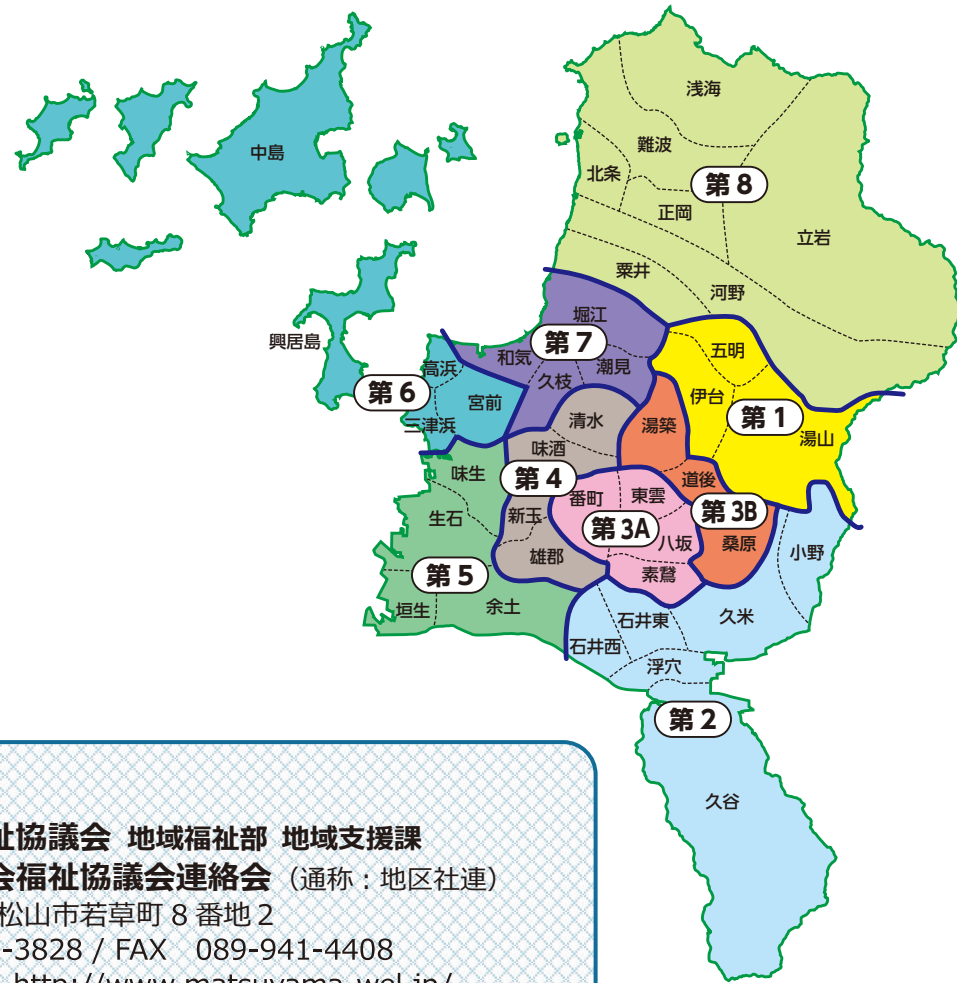
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称:地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏